

平成26年度
第3回 神崎中学校区適正配置地域協議会

日時：平成26年10月14日（火）

19:00～

場所：こうざき小学校1階ホール

I 開会のことば

II 会長あいさつ

III 議事

- 1 木佐上小学校区から
- 2 小中一貫教育について
- 3 通学の安全性と支援について
- 4 その他

IV 閉会のことば

Ⅲ 議事

- 1 木佐上小学校区から
 - (1) 地域協議会への文書について

 - (2) その他

- 2 小中一貫教育について
 - (1) 併設型小中一貫教育の概要について

 - (2) 視察について

- 3 通学の安全性と支援について
 - (1) 木佐上小学校区からの意見等

 - (2) 大志生木小学校区からの意見等

 - (3) こうざき小学校区からの意見等

 - (4) 協議

- 4 その他
 - (1) 第4回地域協議会の開催について

 - (2) 通学に係る調査について

第3回 神崎中学校区適正配置地域協議会

資料集

神崎中学校区適正配置地域協議会
会長 稲生 亨 殿

木佐上小学校統廃合について

木佐上小学校は地区を一望できる高台にあり、子ども達の学舎として、また地域の文化発信の場として中心的役割を担ってきました。

その沿革史を紐解いてみますと、明治9年(1876年)、先人達が子ども達に教育をという願いで設立し、爾来138年の歴史と伝統を持つ小学校です。

明治、大正、昭和、平成の時代を経て、地区民の学習の場として、多くの思い出や願いを叶えてきた小学校でもあり、多くの逸材を輩出してきました。

又、小学校グラウンドや体育館は地区の文化祭、運動会等の地域交流の場として、選挙の投票所、災害時の二次避難所としても使用されてきました。

しかしながら、少子高齢化、過疎化の流れはどうすることもできず、児童数は年々減少し、ここ2年続けて新入生0、全校児童13名となりました。

この現実を受け止め、木佐上小学校PTA及び木佐上校区自治会は木佐上小学校統廃合についての総会を開きました。

木佐上小学校PTAは「27年度よりこうざき小学校へ全児童通わせたい」という結論に、又、木佐上小学校を考える会と木佐上校区自治会は小学校閉校についてのアンケート調査を実施し、「回答者の75%が閉校に同意する」という結果が出ました。木佐上校区総会ではアンケート結果の報告、木佐上小学校の閉校及び閉校に向けての取り組みについて協議し、承認を得ました。

従いまして、木佐上校区自治会は、子ども達のよりよい教育環境の実現をめざすため、断腸の思いで、平成26年度末木佐上小学校を閉校し、平成27年度より、こうざき小学校に統合することに同意致します。

神崎中学校区適正配置地域協議会では、統廃合についての具体的なご協議についてよろしくお願い致します。

平成26年10月8日

木佐上校区

自治会長 幸野 和 夫



1 各期別の特徴的な取組等についての概要

義務教育9年間を前期(4年)・中期(3年)・後期(2年)に区切り、一貫した教育カリキュラムを編成・実施

● 前期 (1年～4年)

反復期 〈学びの基本〉

- ・ 基礎的・基本的な内容の確実な習得
- ・ 基礎的な学習規律・学習習慣の確立

● 中期 (5年～7年)

活用期 〈論理的な思考〉

- ・ 論理的・抽象的な思考の深化

● 後期 (8年～9年)

発展期 〈個性の伸長〉

- ・ 自分らしさの発見・伸長

1年

2年

3年

4年

5年

6年

7年

8年

9年

各期の
節目の式

入学式

前期修了式

立志式

卒業式

教科等の
指導体制

学級担任制

一部教科担任制

○5年:社・理・国・家
○6年:社・理・国・体・家

教科担任制

児童会・生
徒会活動

学級係活動

学級係活動・児童生徒会活動【前期:副会長、専門委員長 中期:副会長・議長、専門委員長 後期:会長、副会長、議長、専門委員長】

縦割り班の
交流活動

縦割り班活動【(例) 4月:縦割り班結成式、5月:体育大会〈全校ダンス等〉、夏休み:除草作業、文化祭〈共同製作、全校合唱〉、2月:縦割り班解散式】

学習・生活
のきまり

生活5原則【1先手挨拶 2整理整頓 3無言清掃 4身だしなみ 5時間厳守】、学習5原則【1二分前着席 2大きな声で挨拶 3忘れ物ゼロ 4授業に集中 5家庭学習】

全学年で
英語授業

英語 1、2年生:20時間/年

英語 3、4年生:40時間/年

英語 5、6年生:50時間/年

英語 7、8、9年生:140時間/年

乗り入れ
授業

全教職員に兼務発令 【5年、6年を中心に実施…英語・算数・理科・音楽・美術・体育】

クラブ活
動・部活動

クラブ活動(6年生:希望者は3学期末から部活動へ参加)

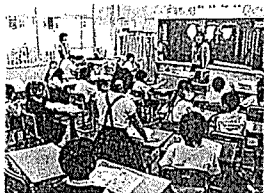
部活動(陸上・野球・バスケット・サッカー・ソフトテニス・吹奏楽等)

★ 一体型大分市小中一貫教育校の構想 ★
2 特色ある学習指導の一例

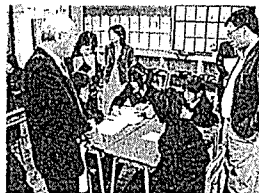
※平成 26 年度 賀来小中学校「学校要覧」から一部抜粋

● 9年間を見通した教科指導の充実（例）

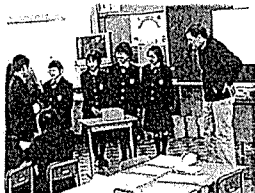
9年間を見通し、学習内容の系統性と各期の発達の段階を踏まえた独自の教育課程を編成・実施。教育課程特例校の指定（文部科学省）を受け、小学校1年生から英語科を導入。



系統性を踏まえた学習指導



秋に公開研究発表会を開催



ALTと一緒に英語授業

● 意欲を高める学習指導の工夫（例）

指導法の工夫・改善、発達の段階に応じた家庭学習、各種検定等、児童生徒の学習意欲を高める各種の取組を実施。

★ 算数・数学等の力を確実に付けていく授業形態のバリエーション

- 習熟度別コース授業 **H26R3/4/5/6/9年度実施**
 ・一人一人の学びの実態に合わせ、よりきめ細かな授業を実施
- 課題別コース授業 **H26R5/6年度実施**
 ・単元の終末において、児童生徒が追究課題を選択し、コース別に授業を実施

★ 国語及び英語の言語事項の理解と習熟を十分に図っていく指導法の工夫・改善

- 「言語の時間」を設定 **5/6年時間/週**
 ・漢字、文の組み立て、敬語等
- 9年間を見通した〈言葉の学習〉〈漢字習熟〉のプログラムづくり

★ 9年間を見通した系統的な家庭での学習習慣作り

- 各期ごとに家庭学習のてびきを作成し、発達の段階に応じて指導

【前期】基本的な学習習慣を身に付ける

【中期】自学・自習の仕方を身に付ける

【後期】進路を見据え、学習内容の充実を図る



【家庭学習のてびき】

★ 「学力向上プラン」による国語・算数・英語の基礎学力の充実

- 各種オリンピックを実施
 ・漢字オリンピック
 ・計算オリンピック
 ・英単オリンピック
- 各種検定試験の参加
 ・漢字検定等

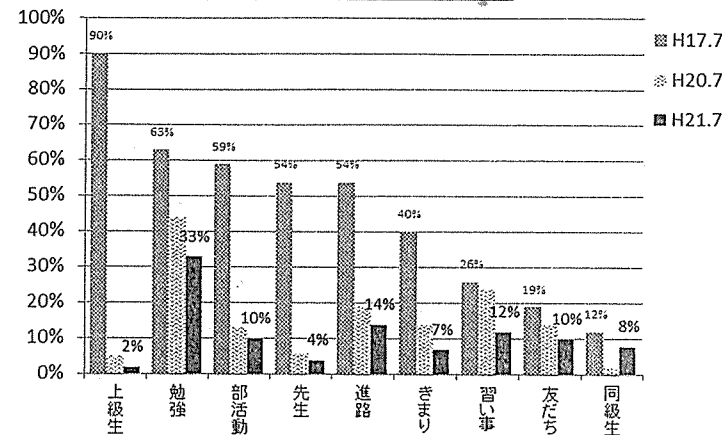


★ 一体型大分市小中一貫教育校の構想 ★
3 各種学力調査結果等の推移

※賀来小中学校の例

● 第6学年児童の中学校進学に際しての不安の軽減（平成17年度、20年度、21年度比較）

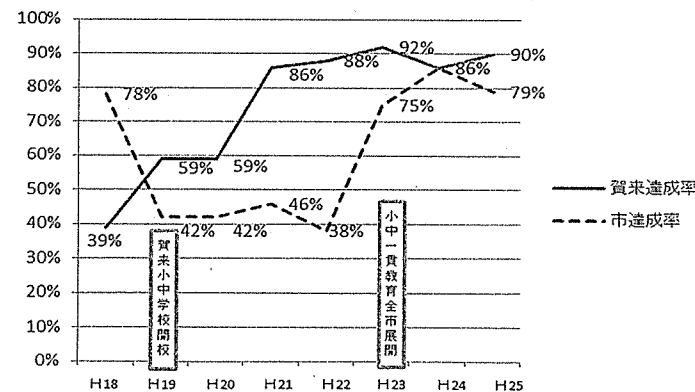
第6学年児童の中学校進学に際しての不安の軽減



● 賀来小中学校の開校（平成19年度）前後の比較

● 開校後は、全ての項目にわたって、中学校進学への不安が軽減している

● 各種学力調査における達成率（全国平均以上の教科数の割合）の推移（平成18年度～平成25年度）



● 国、県、市の学力調査の全国平均以上の教科数の割合の推移

● 開校以後、全国平均以上の割合は増加の傾向を示している

賀来小中学校開校

小中一貫教育全市展開

年度	賀来達成率 (%)	市達成率 (%)
18	39%	78%
19	59%	42%
20	59%	42%
21	86%	46%
22	86%	38%
23	92%	75%
24	86%	86%
25	90%	79%